

令和2年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

家族経営における大規模水田経営と高品質・高収量麦生産の取組

○氏名又は名称 内田 修二・内田 聖子

○所在地 愛知県西尾市

○出品財 経営（麦類）

○受賞理由

・地域の概要

西尾市は、愛知県南部に位置し、年間平均気温 16℃と温暖で、降水量も 1,200mm と農業生産の条件は良く、県内でも農業が盛んな地域である。水田作は矢作川左岸に広がる沖積平野と、古くから新田開発された干拓地を中心に行われており、2年3作体系のブロックローテーションによる水田の効率的利用を実現している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成5年に父母の農業経営に就農した後、平成29年に父から経営継承を受け、現在は家族4名と従業員1名で水稻45.3ha、小麦35.6ha、大豆34.3haの合計85.3haを経営している。また、これまでJA西三河稲作青年部長やJA西三河農作業受託部会理事を務め、新品種の現地実証や地域の環境整備活動等に携わるなど組織活動にも熱心である。

・受賞者の特色

(1) 省力化、効率化の徹底による適期作業ときめ細やかな栽培管理

播種作業では、アップカッターロータリーを使用した耕起、施肥、播種の同時作業により、作業時間の大幅な短縮と適期播種を実現している。また、平成18年に近隣農家とともに導入した病害防除用無人ヘリコプターにより、労働時間の縮減と適期かつ効率的な防除を実現している。一方、敢えて手のかかる自走式コンポキャスターによる確実かつ丁寧な施用や、手作業による追肥後のムラ直し等のきめ細かな栽培管理を行うことで、単収増加と品質向上を実現している。

(2) 高単収・高品質麦生産の実現

受託部会の役員として、県の農業試験場が育成した「ゆめあかり」の現地試験への協力を通して、品種特性を踏まえた栽培技術を開発した。その結果、令和元年産の小麦の10a当たり収量は「きぬあかり」702kg（県平均549kg）、「ゆめあかり」649kg（同608kg）と県平均を大幅に上回る単収を確保しつつ、1等比率も97.2%と、非常に優れた高収量かつ高品質な麦生産を実現している。

・普及性と今後の発展方向

高性能農業機械の計画的な整備や雇用労働力の導入による作業の省力化・効率化の工夫に加え、家族経営協定等による家族及び従業員の労働環境整備など、家族経営であっても大規模な水田経営が可能であることを示した優良な経営事例である。

今後は、高い収量と品質を維持しつつ年次変動の少ない安定した生産を実現するとともに、さらなる受託依頼への対応による地域の農地管理や、地域の農業環境の保全活動等を通じた地域貢献を目指している。